

経営比較分析表（令和5年度決算）

石川県白山石川医療企業団 公立つぎ病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	ド透	救 臨 へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	11,634	-	第2種該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
152	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	152
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
152	-	152

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

当院は「在宅療養支援病院」「へき地医療拠点病院」として、鶴来・白山ろく地域全体に至る広大な診療圏をカバーしている。無医地区を含む当該診療圏においては、医療機関が極めて少なく、当院からの巡回診療の他、当院が一体的に運営している吉野谷及び中宮、白峰診療所、また、他の近隣医療機関と連携するなど、へき地医療において中心的役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

前年度に引き続き、病床利用率は芳しくない状況である。泌尿器科の常勤医を配置したことにより手術数が増加し、入院単価は上昇したが、外来においては発熱者外来にて実施していた各検査が減少したことにより単価は減少に転じた。また新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い各種補助金も打ち切りとなり、経常収支比率は前年より2.7%減の96.8%となった。外来はオンライン診療やA1問診を活用し効率性の向上、入院では入院調整部門が地域の医療機関と連携を密にすることで他施設からの転院を促進するとともに、ショートステイなどの附属施設を活用し、状況に応じて効率的に運用することで収益の向上につなげたい。経費については、特に材料費の高騰の影響を受けており、給与費は令和6年度を含め今後さらなる人事院勧告により引き上げが予想される。これらは診療報酬改定で十分にカバーされず、全国的にも非常に厳しい病院経営にさらされており、当院も例外ではない。

2. 老朽化の状況について

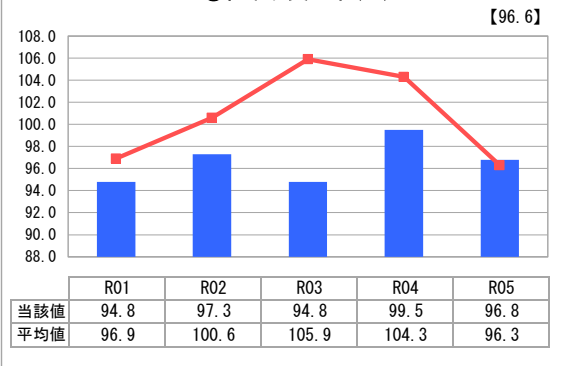
建物・建物附属設備等の老朽化が進んでおり、有形固定資産減価償却率は増加傾向にある。建設より24年が経過しているため、必要に応じて計画的に更新を行っている。器械備品減価償却率については、類似病院平均値と同程度となった。地域的な特殊性や医療過疎地としての医療ニーズに応じた医療機器の計画的購入を図る。また、1床当たりの有形固定資産が多いのは、ショートステイ、通所リハビリテーションセンター等の病院附属施設があるためである。

全体総括

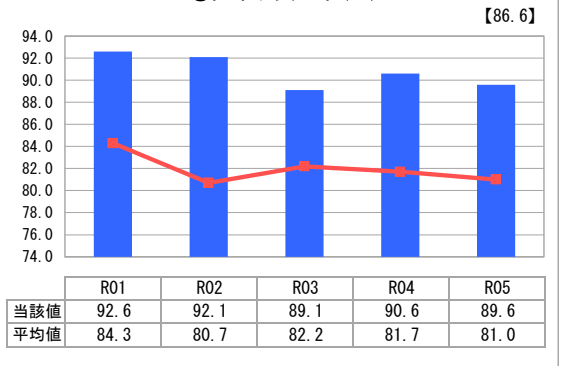
当院においては、鶴来・白山ろく地域における地域包括ケアシステム（住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供）を地域のニーズに応じるよう改善しながら、既存の回復期などの医療機能に加え介護機能（ショートステイ、通所リハビリ・訪問リハビリ）も併せ持つことで、効率的な社会資源の活用と、地域における医療・介護提供体制の飛躍的な向上を目指すものである。今後もへき地における医療・介護サービス提供体制の基幹的施設となるよう包括的機能強化に努める。令和5年度は勿論、令和6年度においても公立病院の経営状況は過去に類を見ないほど非常に厳しい状況下にある。自助努力による効率的経営を進めるのは勿論、国や県からの補助金制度等についても活用できるものは漏らさず申請し、医療過疎地における総合病院としての機能維持に努める。

1. 経営の健全性・効率性

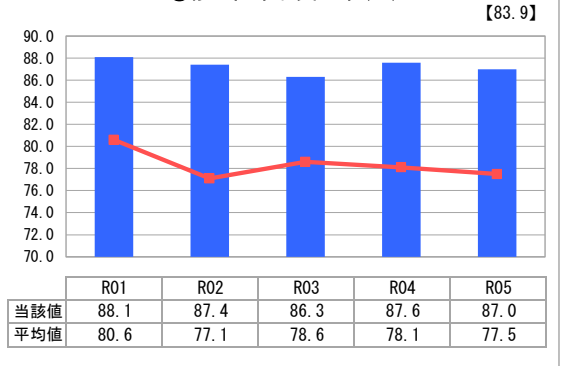
①経常収支比率（%）



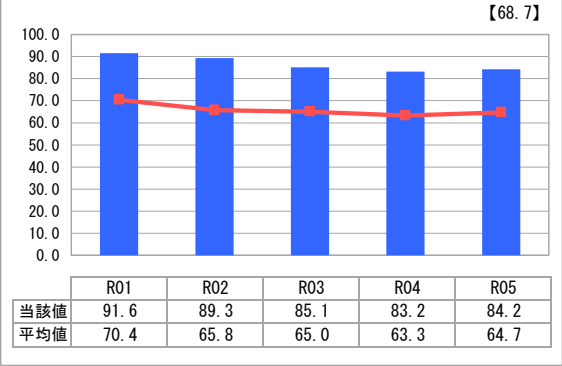
②医業収支比率（%）



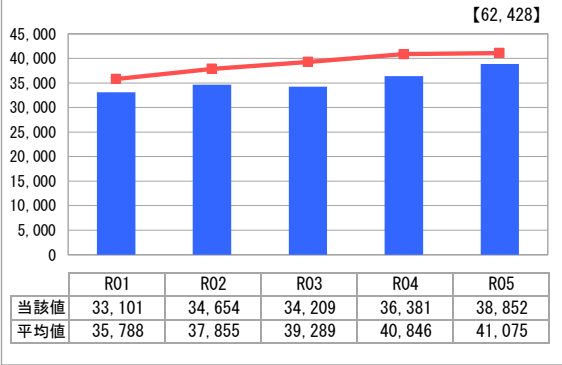
③修正医業収支比率（%）



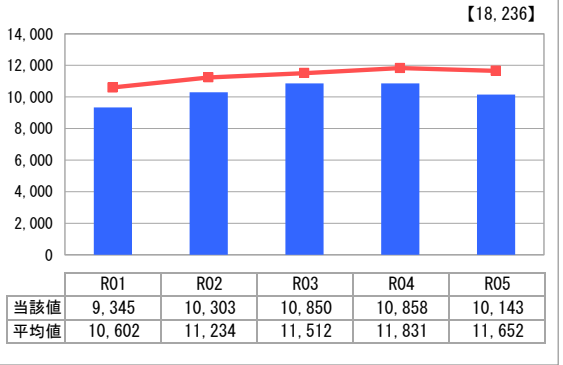
④病床利用率（%）



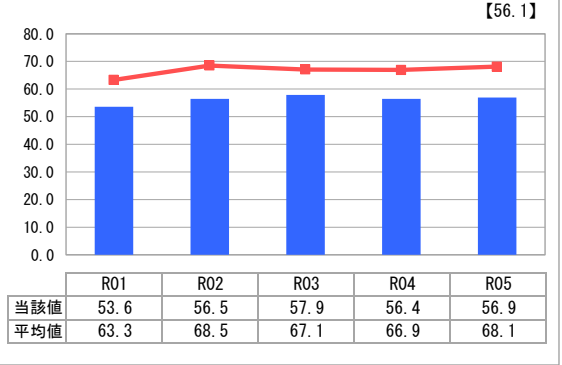
⑤入院患者1人1日当たり収益（円）



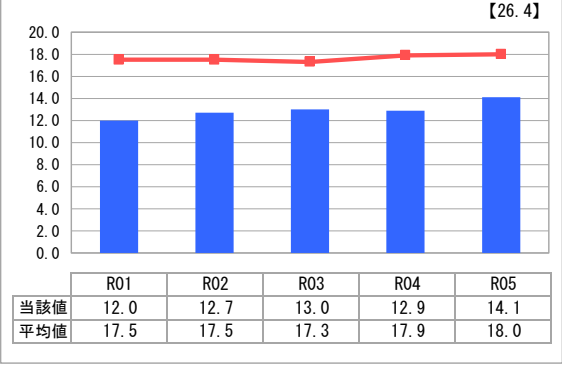
⑥外来患者1人1日当たり収益（円）



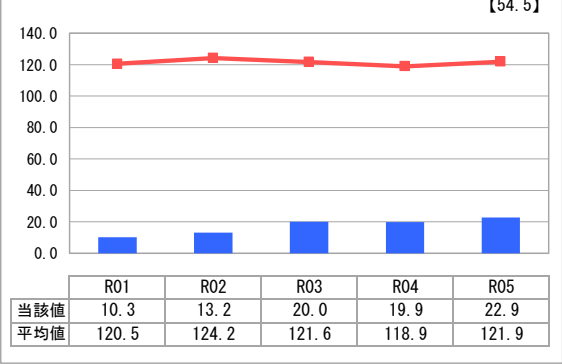
⑦職員給与費対医業収益比率（%）



⑧材料費対医業収益比率（%）

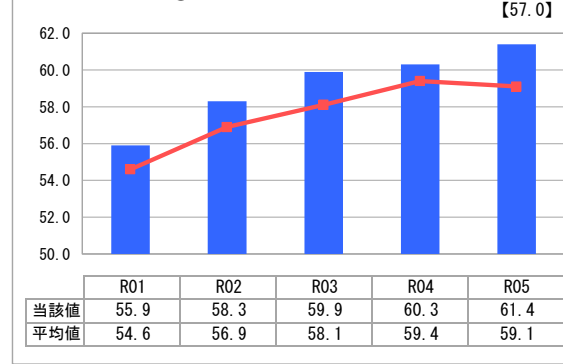


⑨累積欠損金比率（%）

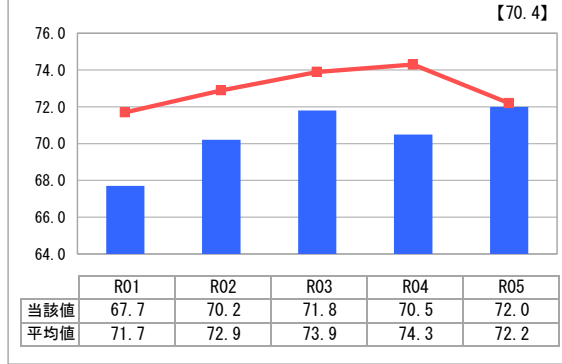


2. 老朽化の状況

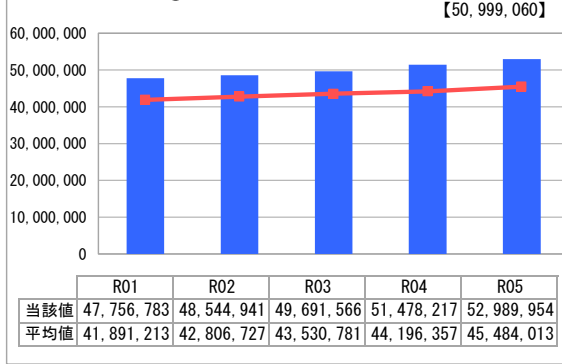
①有形固定資産減価償却率（%）



②器械備品減価償却率（%）



③1床当たり有形固定資産（円）



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。